

「原発を考える」

講師： 橋長孝三郎師(金光教岩代郡山教会長)

山本朝男氏(金光教水戸教会信徒)

3.11 東日本大震災を引き金として発生した福島第一原子力発電所事故は、9ヶ月を過ぎた今日でも被害が拡大し続けています。「安全神話」により守られてきた原子力発電は、今回の事故によってその安全性が根本から覆され、エネルギー政策の見直しが迫られています。今、私たちは原子力エネルギーをどう評価し、未来に向かってどのような道筋を選択すべきなのでしょう。

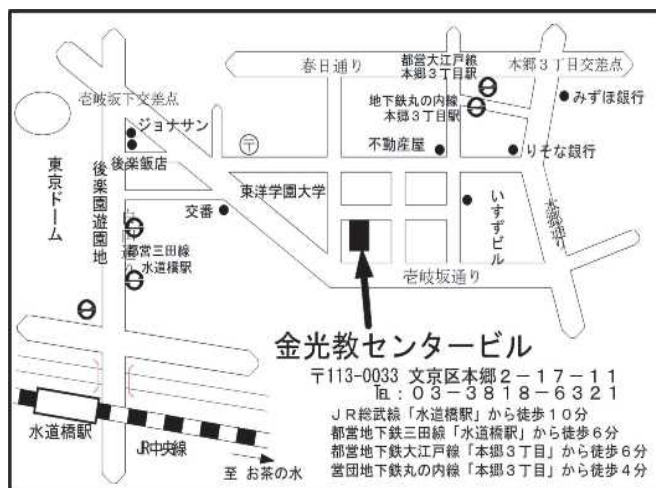
今回は被災地福島県郡山市の金光教岩代郡山教会長と原子力発電の関連企業に勤務されている信徒のお二人を講師に迎え、原子力発電について考えてみたいと思います。

○日 時：2012年1月21日(土) 午後2時から4時45分まで

○会 場：金光教センタービル3階研修室

○参加費：無 料

○対 象：どなたでも参加できます



主催：金光教東京センター